

N O R I A K I

M A E D A

—— 前 田 哲 明

2025



前 田 哲 明 | N O R I A K I M A E D A

1961年 東京都に生まれる
1986年 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業
1988年 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了
1991年 東京芸術大学大学院美術研究科博士課程満期修了
1997年 文化庁の芸術家在外研修制度による研修員としてロンドンに1年間在住

現在、福岡市に在住

個 展

1986年 ギャラリー・バレルゴンII (東京)
1987年 ギャラリーK (東京)[88]
1988年 レスポワール展 その7 (銀座スルガ台画廊/東京)
1989年 ステゴザウルス・スタジオ(名古屋)
1990年 村松画廊 (東京)
ときわ画廊(東京)[91,92,93,94,95,97,98]
1991年 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程研究発表展(東京芸術大学陳列館/東京)
東京ルナミ画廊 (東京)
1993年 「ニュー目黒名(画)座」(目黒区美術館/東京)
1999年 ヴェラン・ファウンデーション(カリニアーノ トリノ・イタリア)
ヨークシャー・スカラプチュア・パーク(ヨークシャー・英国)
2000年 ギャラリーG A N、東京 [03,04]
2001年 ステファン・レーシー・アート・ギャラリー (ロンドン・英国)
2007年 ヨコハマポートサイドギャラリー(横浜)
本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌)
2008年 秋山画廊 (東京)
2013年 gallery COEXIST-TOKYO (東京)
2014年 garelle H (東京)
gallery 21yo-j (東京)
2015年 「前田哲明の彫刻」(平塚市美術館/平塚・神奈川)
2018年 gallery 21yo-j (東京)
2021年 gallery 21yo-j (東京)
2023年 gallery 21yo-j (東京)
2024年 gallery M.A.P (福岡)
2025年 WALD ART STUDIO (福岡)
東京ガーデンテラス紀尾井町(東京)

グループ展

1987年 “ENCLOSURE”(世田谷美術館区民ギャラリー/東京)
1989年 Contemporary Works '89(東急百貨店日本橋店美術画廊/東京)
バトルロイヤルシリーズ③「表層構築」袴田京太郎+前田哲明(ギャラリーα/東京)
アートエキシビジョン'89「8つの波」(マイカル本牧/横浜)
1990年 アートエキシビジョン'90“WIND”(マイカル本牧/横浜)
Contemporary Works '90「彫刻家たちの現在」(東急百貨店日本橋店美術画廊/東京)
1992年 第21回現代日本美術展 (東京都美術館/東京)
ルナミセレクトション'92 II (ルミナ画廊/東京)
1998年 サマーエキシビジョンRA (ロイヤルアカデミー/ロンドン・英国)[99,2003]
インサイド/アウトサイド (新潟県立近代美術館/新潟)
2000年 プライム：記憶された色と形 (東京オペラシティアートギャラリー/東京)
2001年 第19回現代日本彫刻展 (宇都宮常盤公園/山口)
2002年 第29回長野市野外彫刻賞 (南長野運動公園/長野)
2005年 「DOMANI・明日展 2006」(損保ジャパン東郷青児美術館/東京)
2006年 第9回KAJIMA彫刻コンクール入選作品展(KAJIMA・Kiblgアトリウム/東京)
2007年 メキシコー日本彫刻展(マカイ美術館、メリダ/メキシコ)
「旅」展ー異文化との出会い、そして対話ー(国立新美術館/東京)
2009年 水と土の芸術祭出品(秋葉山公園/新潟)
2010年 「オブジェの魅力」(島根県立美術館/島根)
2014年 Itazu Litho-Grafik Color Walls (東京ミッドタウン/東京)
2016年 カスヤの森現代美術館 (横須賀・神奈川)
2017年 「Big Heat」(日本橋高島屋美術画廊/東京)
2018年 第15回KAJIMA彫刻コンクール入選作品展(KAJIMA・Kiblgアトリウム/東京)
2019年 第4回八色の森の美術展 (池田記念美術館/新潟)
二人展 (田中八重洲画廊/東京)
2020年 第5回八色の森の美術展 (池田記念美術館/新潟)
2021年 第6回八色の森の美術展 (池田記念美術館/新潟)
「Big Heat」(日本橋高島屋美術画廊/東京)
2022年 大分アートフェスティバル2022「回遊劇場AFTER」(NTT府内ビル別館/大分)
2024年 壁11mの彫刻展 (いりや画廊/東京)
「響きあうアート宗像」2024 (大島砲台跡/赤間宿 宗像市・福岡)
市制70周年記念企画 アートフェス大川ーエンジョイ町並み美術館ー(大川市立清力美術館/大川市・福岡)

プロジェクト

2002年 「Today and Tomorrow」(オールセインツ教会/ロンドン・英国)

シンポジウム

1994年 釜山国際野外彫刻シンポジウム(オリンピック記念公園/釜山・韓国)
2004年 「アイ・オブ・ザ・ストーム」ラ・マンドリア・パーク(トリノ・イタリア)
2013年 「無限上綱」高雄国際彫刻シンポジウム(高雄・台湾)

おもな受賞歴

1986年 安宅賞
2001年 第19回現代日本彫刻展[大賞]
2002年 第29回長野市野外彫刻賞
2006年 第9回KAJIMA彫刻コンクール[特別賞]
2007年 第13回本郷新賞
2018年 第15回KAJIMA彫刻コンクール[銅賞]

前田哲明 Noriaki MAEDA
RECENT WORK 2025 Alternative Version (2025)

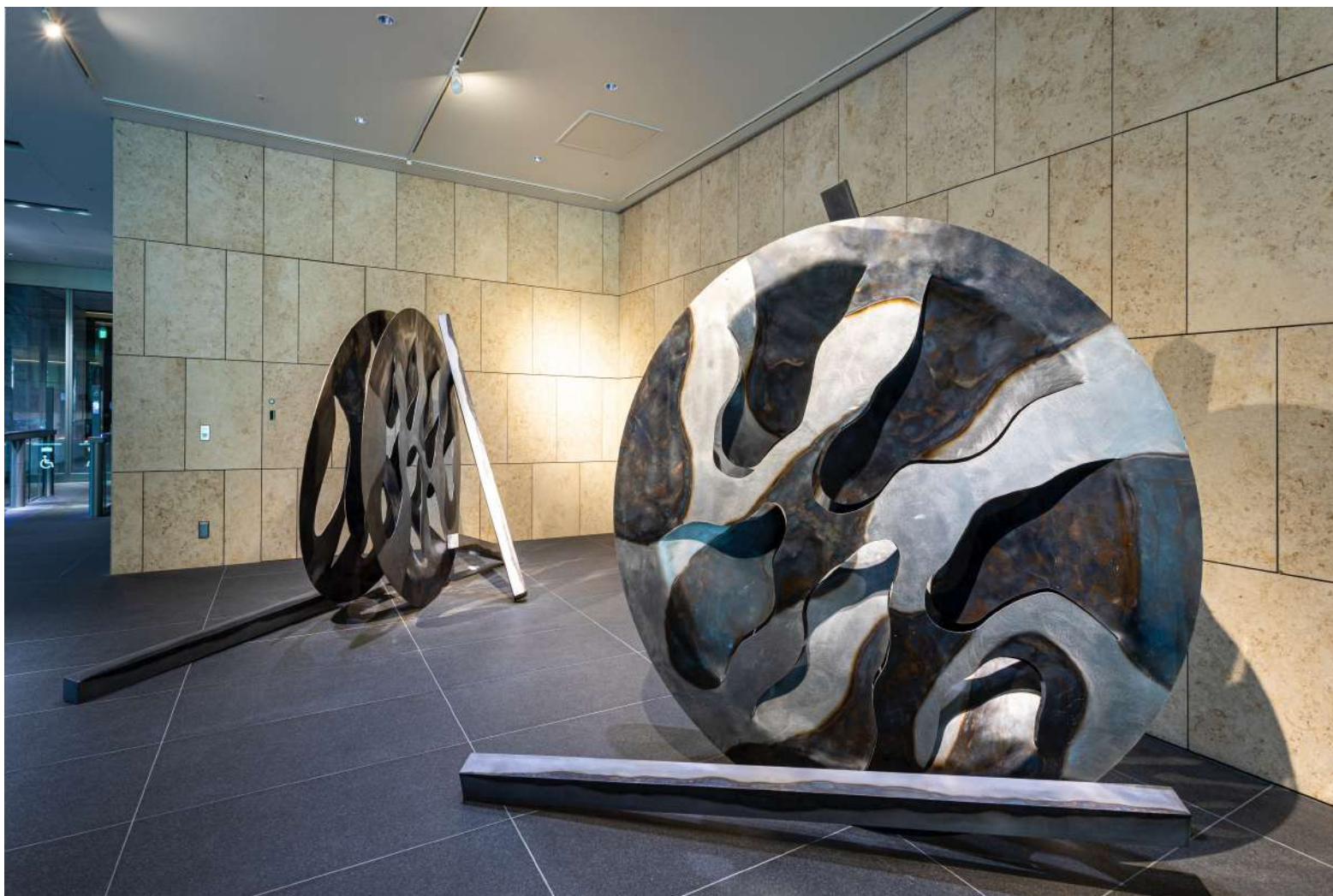
これまで作品を制作するなかで、素材と空間の距離感、そして自分自身の意識に宿る身体性は切り離せないファクターであった。私にとって、
身体性とは記憶の痕跡を作品へ投影しながら自己と空間の関係を可視化することであり、それは制作における根源的な営みでもあった。さらに
空間との距離感を見出すことにより、作品を通じて初めて自分自身の意識に立ち返ることに収束する。



[UNTITLED 2025 A B Alternative Version]
2000×2625×975(mm) / Steel



[UNTITLED 2025 A B Alternative Version]
2000×2625×975(mm) / Steel



[UNTITLED 2025 A B Alternative Version]
2000×2625×975(mm) / Steel



[UNTITLED 2025 A B Alternative Version]
2000×2625×975(mm) / Steel



N O R I A K I

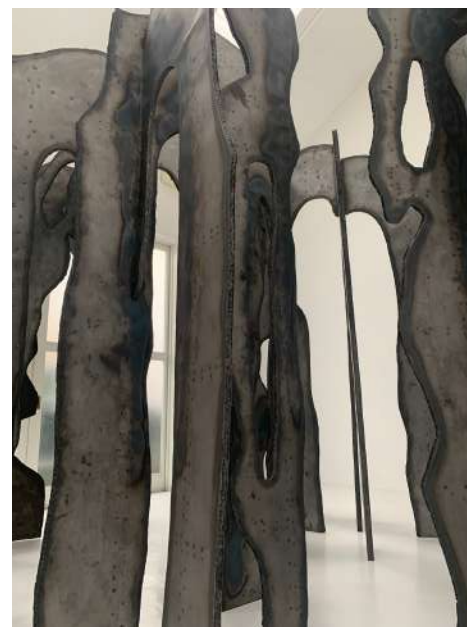
M A E D A

—— 前 田 哲 明

2023

U N T I T L E (2 0 2 3)

前田は1961年東京都生まれ。91年東京芸術大学大学院博士課程修了後、文化庁の芸術家在外研修制度による研修員としてロンドンに1年間在住した。前田はこれまで、手の痕跡が素材に映し出されることを極力避けようとは思わず、むしろ表現の一環として制作に向き合ってきた。しかし近年知らず知らずのうちに手の痕跡を最小限にとどめることで素材の特性を活かすような方法にシフトしている。鉄を素材とする作品にとって手の痕跡とは溶接を重ねることにほかならず、どこか塑像の粘土づけにも通づる点がある。この手作業の一環としての溶接を重ねるうちに、前田は酸化被膜のない素肌の鉄板に伝わる溶接の痕跡の色が、紙面に染み込むインクとオーバーラップする時があることに気づいた。



[UNTITLED]

2023 / H305×W370×370 (cm) / Steel



[UNTITLED]

2023 / H305×W370×370 (cm) / Steel